

ボランティア登録継続意思確認の案内

ボランティアグループに所属している人は

グループリーダーへ活動の継続・休会・退会のいずれかを連絡してください。確認後、必要がある人にはセンター事務所から問い合わせをする場合があります。登録内容に変更がある場合は、センター事務所に申請書を提出してください。

個人で登録したボランティアの人は

センター事務所から、活動確認を行いますので、2月15日(月)までに返送をお願いします。「なかま」を配布している人には活動確認を行いませんので、休会や登録抹消の意向がある場合は、その旨をセンター事務所へ連絡してください。

ボランティア活動保険

ボランティアセンターへの依頼に対し、ボランティア活動をする者と確認された時点で保険加入の手続きを行います。活動を始められる際はセンター事務所までご連絡ください。また、活動していただくにあたって、センター事務所へ依頼書と活動報告を提出していただく必要があります。詳細はセンター事務所へお問い合わせください。

お知らせ

◎助成金会計研修日程

令和2年度決算及び令和3年度予算に関して
2月9日(火) 11時から 「かざぐるま、玉手箱、ひまわり、陽だまり、糸ぐるま、ふれんズ」
2月16日(火) 11時から 「虹の会、さつき、ほほえみ、あい、星の会、アリス、HAND」

◎「なかま」の発行について

次号244号は4月5日(月)です。以降の発行予定は7月・10月・1月の第1月曜日ですが、状況によっては変更もあります

リーダー会議

【12月22日】

会長挨拶

・ 年末年始に向けて体調管理に気を付けて穏やかな新年を迎えましょう
連絡会より

- ・ 大阪府市町村ボランティア連絡会 Zoom研修交流会報告(3頁参照)
- ・ 第4期交野市地域福祉計画 次期計画策定にむけて福祉団体のヒアリングで意見を提出、以降の進捗状況は後日報告
- ・ 連絡会管轄の助成金から備品及び消耗品を購入予定
- Vセンターから

- ・ 令和2年度ボランティア表彰について報告(1頁参照)
- ・ 連絡会助成金会計研修について2月に開催(4頁参照)
- ・ ボランティア登録継続確認について(4頁参照)

【10月27日】連絡会より

- ・ 赤い羽根共同募金の地域助成金について、連絡会としての今年の申請は見送りました。
- ・ 11月のVセンター大掃除は中止
- ・ 連絡会のメールアドレス変更について

Vセンターから

- ・ Vセンター館内Wi-Fiの利用について
- ・ ボランティアサロンについて
- ・ ボラセンよってつて、について

- 1月7日(木)、2月3日(水)、3月8日(月)、午前10時開催
- ・ グループヒアリングについて
- ・ HPグループ紹介について、内容に変更のあるグループはデータを12月のリーダー会議までに提出

- ・ Vセンターの年末年始休館日は12月27日(日)から1月5日(火)

※会議終了後、スキルアップ研修を実施しました。



◆ ◆ ◆
▼ 昨年の世相を表わす漢字は「密」で、清水寺の森貫主は揮毫(きごう)にあたって「密は心のつながりを表わす。新型コロナウイルスの感染拡大で、国民や医療従事者が苦勞している中、日本中が努力して、この状況に向かっているのをありがたいと思いつながら書いた」と述べられた。▼ コロナの影響でボランティア活動もいろんな制約を受けている。中でも活動の基本となる人との交わりが稀薄になるのは痛手であるが、心はいつも「密」でつながりを大切にしたいと思う。

トの再検討ははじめ、「なかま」の季刊発行、リーダー会の隔月開催などを進めていきましたが、はからずも現在の社会現象に合った取り組みとなりました。

感染者の拡大が報じられる状況ですが、日常の健康を心がけ、また皆さんと活動できる日が早く訪れることを願いつつ、いまは牛歩の歩みでも確実な一歩を共に進め参りましょう。

本年もよろしくお願い致します。

【受賞の喜び・HAND】

継続は力なり、創立者の思いを胸に、施設や地域の皆さんの期待に応えながら、まず参加者が元気になって貰う、そして寝たきりにさせない、つぐらなことを願って、仲良く、楽しくをモットーに活動を続けて20年になりました。

現在はコロナ禍でやむなく活動休止の状況ですが、この度の受賞の喜びを糧に、さらに活動の発展に努めたいと思っています。

厚生労働大臣表彰・団体 歌体操「HAND」
大阪府知事表彰・個人 林志都江さん

令和2年度、社会福祉活動に貢献された団体・個人に贈られる厚生労働大臣表彰並びに大阪府知事表彰のボランティア功労者について、厳しい審査を経て被表彰者が決まりました。交野市からは、厚生労働大臣表彰を団体でいきいき歌体操「HAND」が受賞。また大阪府知事表彰を個人で林志都江さん(介護衣料「糸ぐるま」・外出介助「かざぐるま」)がそれぞれ受賞されました。

ボランティア通信 2021. 1 Vol. 243

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 894-3737)
(Fax 891-3340)

新年あけましておめでとございます



心穏やかにゆったりと一歩ずつ

会長 菊田広子

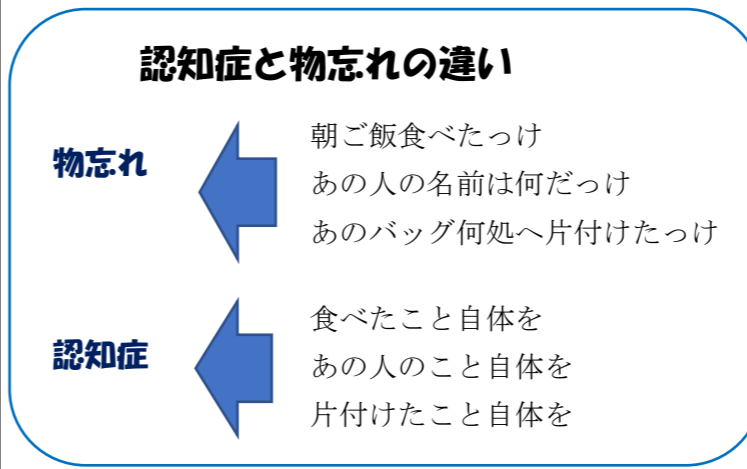
今まではごく当たり前に過ぎていた日々の暮しが、昨年は新型コロナウイルス感染症が世界的に拡がり、思わぬ大変動の年となりました。

こうして新たな年明けのご挨拶を交わせることに感謝の思いを抱きます。様々な集いや催しが中止となり、リモートでの在宅勤務も特別なことではなくなった昨今、

ボラセンよってって～

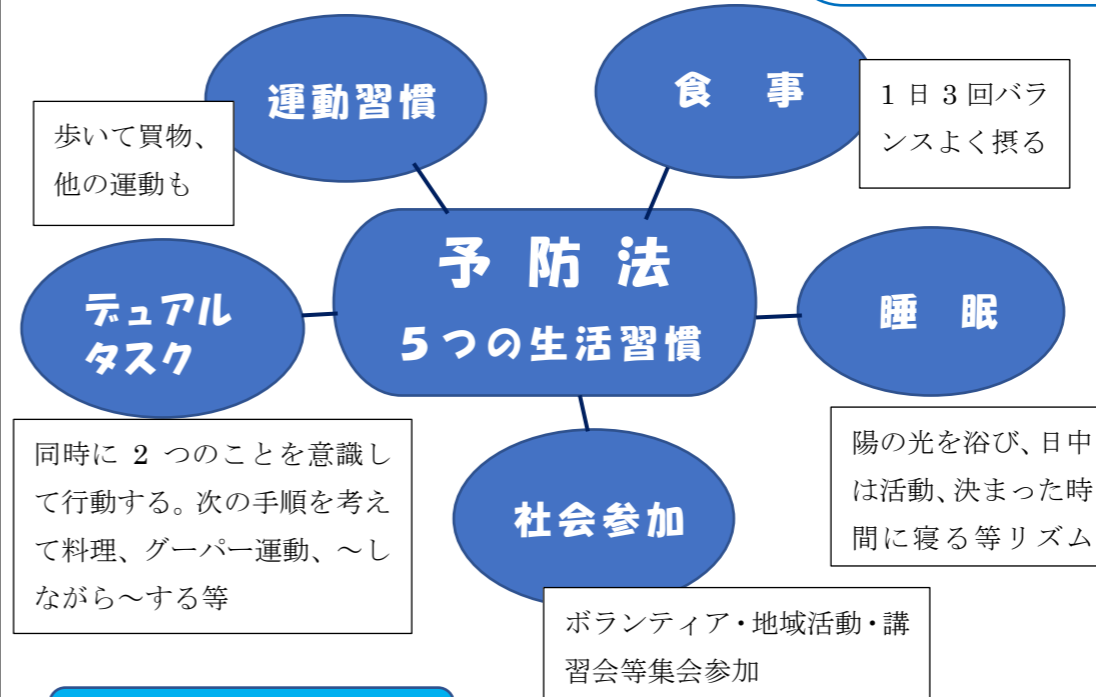
健康講座：「認知症予防大作戦 体操で脳も体も元気に！」 報告者 森本昌子

10月12日「ボラセンよってって～」では特別企画として、千里金蘭大学看護学部保健師課程実習生による健康講座が開催されました。



フレイル

加齢とともに筋肉が減ってきて動けなくなる状態のこと
「私・・・だから、食べているのに痩せてきて、どこもかもシワクチャになるのかと変な納得、今そこに足を突っ込んでいる。危ない！」



講義は、左記のとおり、実習生さん4人の清々しい若さと気取りのない話や体操、ストレッチ、脳トレなど楽しく学習しました。また、孫とお婆さんの寸劇を入れたり、飽きない工夫いっぱいの手作り講座に私は不思議な感動を受けました。ありがとうございました。



赤い羽根共同募金助成金

— 活用しています —



今年度、連絡会本部として、赤い羽根共同募金助成金で、住宅地図交野市版（CD-ROM）を購入しました。年4回発行する広報紙「なかま」の配付に活用します。
広報紙「なかま」は、連絡会の活動を会員の皆さまだけでなく、市内の公共機関や福祉関係施設など幅広く配付しています。
配付ボランティアの方たちの作業に有効活用していきます。

ボランティアサロン

【学生ボランティア登録説明会】

ボランティアセンターでは若い力を必要としています。今だからこそ、できるボランティア活動を探しませんか？

とき：2月25日(木)
午後2時～4時
内容：活動紹介・個別面談
ところ：ボランティアセンター

サロン申込み  

チラシ

*当日参加が難しい人は後日の面談やZOOMによるオンライン相談も可能です。

コロナ禍のいまだからこそ

ネットワークでもつとつながろう

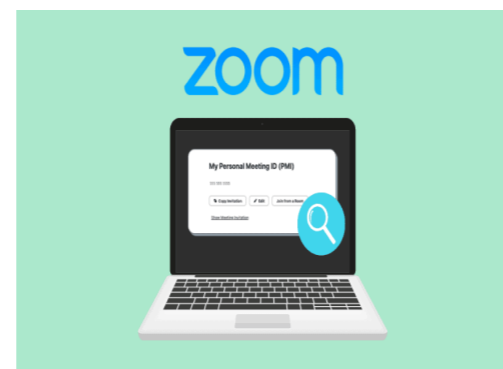
気軽に声かけあって



新型コロナウイルスの報道があつて、早一年過ぎました。私たちの活動も大きな影響を受け、全く活動停止状態のグループもあります。そんな中で立ち止まって周りを見てみると、活動内容の違うグループ同士で補い合えるようなことがあるのではないかと思います。

グループがどんな活動をしているのか知らないことが多いものです。私たちは様々な活動をしているグループ連絡会を組織して活動しています。そのネットワークを生かして他の活動を知り、連携をとることで、中身の濃い活動につながっていきけるのではないかと思います。

(栗原清美子)



コロナ後の活動にも活かせる

今回のZoomによるリモート会議はwithコロナ禍に必要な活用手段の一つであると感じました。

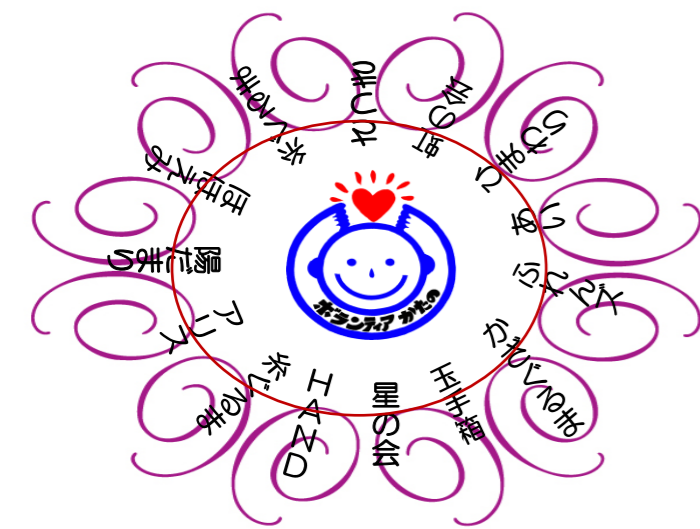
特に非接触型福祉活動（活動のための打ち合わせや会議等）に関しましてはかなり有効な手段であると実感しました。しかし私が活動している接触型福祉活動（会話や接触を伴う活動）に関しては未知であり、私の中で大きな課題ができました。

今後この課題を関係者の皆さまと共に知恵を出し合い、議論を重ね、乗り越えて、さらにはうまく利用していけたらと考える次第です。

余談ですが植物遺伝学者のダーウィンの言葉で「強いものが生き延びるのではなく環境に適応したものが生き延びる」との教えがありますように、私自身もこのリモート会議にも慣れ活用できるようになっていきたいと感じたところであります。

アフターコロナにおいても、Zoomによるリモート会議システムは会議にとどまらず我々のボランティア活動に多方面で生かしていけるものと思います。よい機会を与えていただいたことに感謝しています。

(馬場 巡)



大阪市町村ボランティア連絡会

オンライン会議でZoomを体験研修

昨年11月4日・11日の2回に分けてオンライン会議（Zoom）の基礎的な使い方を学び、コロナ禍でのボランティア活動に活用できるようにと2グループに分けて開催されました。交野市ボランティアグループ連絡会は11日（14の市町村が参加）の研修に参加しました。講師はNPO法人淡路島アートセンター理事長の青木将幸氏。